



やまなみ

山形市立大曾根小学校

学校だより

令和5年7月26日

校長

No.5

土井 正路

夏休みを迎えるにあたり・・・「子どもたちの健やかな成長を願って」

7月27日（木）より8月21日（月）まで夏休みとなります。ご家庭で過ごす時間が中心となります。自分を成長させる有意義な夏休みとなるよう、お家の方からの温かい励ましや声かけ、よろしく願いいたします。下の詩は1999年にベストセラーとなった「子どもが育つ魔法の言葉」からの抜粋です。当時話題となり、教育界以外でも様々なところで引用されましたので、知っている方もいらっしゃるかと思います。私も親として、折りにふれて読み返しています。「子は親の背中をみて育つ」「育てたように子は育つ」と言われます。また、子育てに正解などはありません。子育てを通して、親も成長していくものだとことを私自身も実感しております。子どもの力を信じて、子どもが自らの力で出来るまでじっと見守り、待ち続けることは、手を貸したり、障がいを取り除いたりするより難しくしかも愛情のいることです。しかし、子どもが自分で考え、勇気をもって行動し、達成感を味わったり、失敗から学び強くなれるチャンスです。このチャンスを子どもから奪わないこと、それが親の愛情であり強さだと思います。

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる

「かわいそうな子だ」と言っていると、

子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引込み思案な子になる

親が他人を羨うらやんでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもはやさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

（子どもが育つ魔法の言葉 ドロシー・ロー・ノルト著）

体験学習や社会科見学で「学び」が深まりました。

6月、7月は校外での学習や体験活動が目白押しでした。あらためて、地域の皆様はじめ講師を務めていただいた先生方に深く感謝を申し上げます。

おいしい味噌になあれ

4年生みそづくり体験

6月23日（金）、4年生が総合的な学習の時間に味噌づくりに挑戦しました。大曾根小サポート委員であり、山二醤油醸造(株)の新関徳次郎社長さんよりご指導いただきました。新関さんによると、本校の味噌づくりの学習は20年以上続いている活動のようです。貴重な体験ができました。4年生は一人一人がおいしい味噌になれと願いを込めながら、米麴と潰した大豆を上手に混ぜることができました。出来上がりが楽しみですね。お忙しい中、子供たちのために本当にありがとうございました。



大曾根地区を歩いてみよう

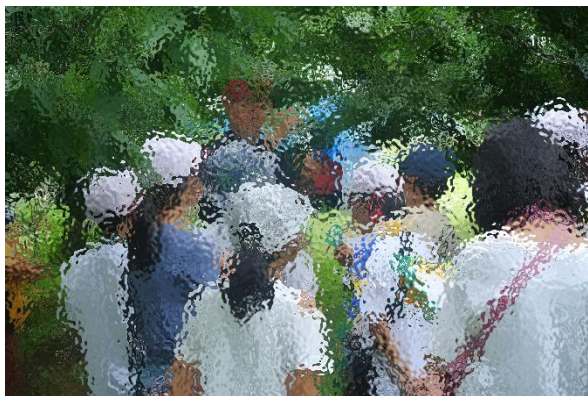
2年生 町探検

2年生が6月23日に古館地区、7月3日に上反田地区に町探検に出かけました。町並みをゆっくり眺めながら、たくさんの発見がありました。途中、交番にも立ち寄り、駐在さんに挨拶することもできました。大曾根地区の良さを知るきっかけとなってくれば良いですね。



さくらんぼづくりに学ぶ

7月14日（金）、3年生と5年生が合同で下反田地区にあるサクランボ農園に見学に行きました。地域学校協働活動推進員の寒河江先生よりコーディネートいただきました。農園を管理をしている上反田の佐藤信之さんから、たくさんのお話を聞くことができました。3、5年生のみんなも佐藤さんにたくさん質問していました。栽培している品種のこと、サクランボの歴史や学名、手入れの仕方、1本の木から収穫できる量、大きさの規格などをわかりやすく教えていただきました。佐藤さんは「良いサクランボを育てるためには土台となる土作りが大事である。育てるのは大変だが、苦勞と思わず楽しみながらやっている。勉強もできるようになるには同じでしょう。」「サクランボは何も語ってくれないけど、枝や葉の付き方、成長具合など様々なことを観察することでサクランボと会話できる、何よりも愛情をもって育てることが大事です。」と語ってくれました。教育や子育てにもつながるお話で興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。



歴史や科学、過去の出来事から学ぶ ～6年生修学旅行

6月29日（木）、30日（金）に6年生が1泊2日で宮城・岩手方面に修学旅行に出かけました。たくさんのお話を学んだ2日間でした。1日目は世界遺産「平泉」と宮城県石巻市を中心に見学しました。最初に平泉世界遺産ガイダンスセンターで中世の人々のくらしや奥州藤原氏の当時の繁栄ぶりを映像やジオラマ、展示資料などで学びました。次に中尊寺金色堂を見学しました。黄金がきれいでした。その後、石巻市の震災遺構である大川小学校を訪れました。2011年3月11日に起こった東日本大震災において、津波によりたくさんの命がうばわれてしまった学校です。児童108人中78名、教職員10名が亡くなられたそうです。大川小学校では、語り部の方から当時の様子や震災が起こったときの対応、自分の命は自分で守ることの大切さを教えていただきました。語り部さんの息子さんは津波で亡くなられたそうです。語るのもつらいと思うのですが、しっかり私たちに伝えてくれました。東北に生きるものとして、絶対に訪れるべき場所の1つです。2日目は仙台市科学館で科学の楽しさを味わい、ベニーランドでは雨天の中、楽しく遊ぶことができました。



リサイクルを学ぶ。水道のありがたさを知る。

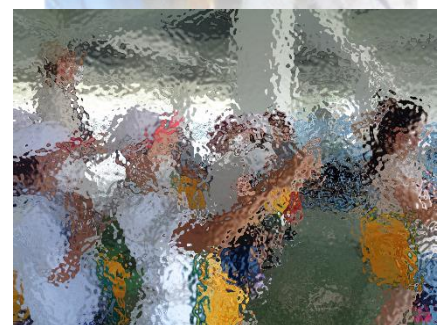
7月13日（木）に4年生が社会科見学で見崎浄水場と立谷川にあるリサイクルセンター・エネルギー回収施設を見学しました。4年生が社会で学んでいる住みよい暮らしや人々の暮らしの学習の一環です。立谷川ではゴミを巨大なクレーンで持ち上げるところを見せてもらったり、電気をおこす体験をしたりとたくさん学ぶことができました。浄水場では川からとった水がきれいになる過程、原理を学ぶことができました。持参したタブレットでたくさん写真を撮っていました。まとめの学習が楽しみです。

児童の「まとめ」から

「PET ボトルが服になることにおどろいた」「川の水と水道水を比べて、ここまできれいにできてすごいと思った」：光希さん

「混ぜればゴミ、分ければ資源」「見崎浄水場で働いている人は少ないのに、大きなせつを動かしているすごい。停電でも水が出るようにされている。」：朱莉さん

「エネルギー回収施設では、ゴミを高温でとかしてもやして電気を作っている。でもゴミを捨てすぎると環境に悪いから、ゴミはできるだけ少なくしようと思った。」「これからも水は大事に使おうと思った。」：彩翔さん



音読うまくできたかな？

1年生の音読発表会

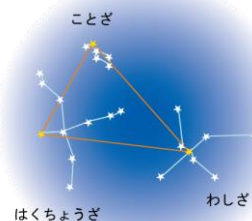
1年生が国語の時間に取り組んでいる「おむすびころりん」の音読を2,3年生に発表しました。以前、2年生が1年生の前で「スイミー」の音読を劇風に披露してくれたのを受け、今回は1年生が読み方の表現や工夫を行い、それぞれの役になりきって披露してくれました。



ちょこっとサイエンス

お家の人と夏の夜空を観察してみませんか？

4年生の理科の学習で「夏の大三角」が紹介されています。皆さんは、実際に自分の目で見たことがあるでしょうか。はくちょう座のデネブ、こと座のベガ、わし座のアルタイルの3つの一等星で形作られています。夏休み中であれば、夜8時すぎころから東の空に見つけることができます。山の上などの空気がきれいなところであれば、ベガとアルタイルの間に天の川が見えるかもしれません。皆さん知っているように、ベガはおりひめ星、アルタイルはひこ星として知られていますね。七夕で有名ですね。ぜひ、夏休み中、晴れた日にはお家の人と夏の大三角を見つけてみましょう。また、夏は南の空にさそり座がきれいに見える季節です。さそり座にはアンタレスという赤い星が目立ちます。ギリシャ神話では、乱暴者の狩人であるオリオンを殺したといわれているさそりです。ちなみにオリオン座は冬の代表的な星座の1つです。



1学期をふいかえって 4年 吉田 光希

わたしは1学期にがんばったことが2つあります。1つ目はクラスのことです。学級目標のポスター作りでは協力できたと思います。学習は4年生になって難しい問題がたくさんあります。とくにわり算の筆算がむずかしかったです。自主学习で苦手なところを頑張りたいです。2つ目は委員会です。給食中の校内放送では、前よりも大きい声で話すことができるようになりました。紙芝居の読み聞かせでは、その役になりきるのが楽しかったです。終わった後にたくさんの感想を言ってもらえうれしかったです。2学期は1学期よりスローガンに近づけるようにみんなで協力してちょうせんすることをがんばりたいです。

御協力ありがとうございました

～いじめに関するアンケート～

6月上旬、全校児童及び保護者を対象に、いじめに関するアンケート調査を行いました。その結果や子どもからの訴え等をもとに、「いじめ」と認知した事案について、訴えがあった子供から担任・担当が丁寧に話を聞いて事実確認を行い、保護者へ連絡し報告するとともに、行為を行った子供への指導を行い、保護者へ連絡し、学校と連携を図っていくための協力をお願いしました。